



カウンセラーだより

たじま絆保育園 H30. 1月号

保護者の皆様こんにちは。遅らせながら本年も宜しくお願い申し上げます。1年を通して最も寒い日が続いています。くれぐれも体調など崩さぬよう、心身ともにご自愛ください。さて、新年一発目のお便りは、「乳幼児のあそびと発達について」お送り致します。ぜひご覧ください！



乳幼児（1歳～2歳）のあそびと発達について

1. ふれあいあそび

0歳の発達にも欠かせないのが愛着です。「三つ子の魂百まで」と云われていますが、この人間形成における土台になるのが愛着です。ですから、親子におけるふれあいあそびは最も子どもの情緒・対人関係・社会性・自尊心を伸ばすあそびになります。具体的には、手あそび・抱っこ・肩車・お馬さん・くすぐりあそびなどが代表的でしょうか。ぜひアイコンタクトを合わせながら至福の時を楽しんでください。

2. 運動

1歳を超え、1歳半を迎える頃には、自立歩行から自立走行を始め、辺りを探索し始めます。お子さんの気質にもよりますが、男の子は特によく動きます。この頃子どもは動く事が楽しくて仕方ありませんから、この時期に合わせ、特に粗大運動（ハイハイ・歩行・走行・階段の昇り降り・ジャンプなどの全身運動）を沢山させた方が身体運動発達や身体的健康、発散による情緒的安定が望めます。

3. 微細運動（指先を使うあそび）

幼児から始めてもタイミングとしては適切ですが、どうやら指先の運動は脳の発達に多大な効果がある、と考えられています。よく年配の方が「ポケ防止に編み物をしている」と言いますが、脳科学的にも根拠がある事が分かりました。1～2歳でしたら、シール貼り・型落とし・紐通しなどがオススメです。

2月のお知らせ

- ・ 随時、保護者向けの個別相談を受け付けております。
- ・ 毎週水曜の9時～18時に出勤予定です。
- ・ 7日の水曜17時～18時に「育児と仕事の両立支援講座」を開催します。



3月号はあそびシリーズ全3弾の3弾目として「幼児のあそびと発達について」お送りします！ぜひ、ご覧ください！